



ナウミン

浜松市博物館情報



シジ丸

Hamamatsu City History Museum News

2022.10.15

No.352

史跡蛭塚遺跡保存活用計画について

国の指定史跡である蛭塚遺跡は、縄文時代後期～晩期の貝塚を伴う集落跡です。昭和三〇年代には、発掘調査や保存整備が行われ、昭和五〇年代には、公園整備や博物館の建設など、保存活用の取り組みが行われてきました。しかし、それらの整備から数十年が経過しており、施設の老朽化や最新の研究への対応、新たな公開手法の検討などが課題となっています。

そうした課題を解消して、蛭塚遺跡をより良い形で保存・活用していくために、令和二年から三年にかけて作られたのが、「史跡蛭塚遺跡保存活用計画」です。この計画では、蛭塚遺跡が持つ価値や課題を整理して、将来に向けて目指す姿と保存活用の基本方針を示し、管理・整備・活用・運営についての方向性やおおまかな事業内容、実施時期の計画を掲載しています。

【目指す姿】国の史跡を未来に向けて確実に継承するとともに、縄文時代の貝塚を伴う環状集落に関する調査研究を進め、その本質的価値を顕在化させることで、多くの人が遺跡の魅力を感じられる姿を目指す。

【基本方針】
調査研究 これまでに発掘調査された遺構や出土品等を再検証するとともに、最新の研究方法に基づく調査研究や発掘調査等を通じて、蛭塚遺跡の全体像を究明する。
保存 周辺環境との調和をはかり、遺跡の本質的な価値を将来にわたり確実に継承できるように最大限留意し、適切な保存・管理を行う。

活用 調査研究を通じて得られた遺跡の本質的な価値を分かりやすく伝えるとともに、縄文文化を学ぶ機会を広く提供する。

整備 蛭塚遺跡の本質的価値の保存に留意し、都市集客核として縄文時代の景観と暮らしが体感できる整備を進める。

運営体制 史跡の目指すべき姿を実現するため、行政だけでなく市民・企業・学校・研究機関と連携した運営体制を構築する。

【主な方向性と事業】

活用 市民及び近隣住民をメインターゲットとして、史跡内外での周知啓発事業や学校、地域との連携を図る。調査研究成果に基づき史跡の重要性の周知啓発、学校教育、生涯学習への活用、佐鳴湖等周辺の景観や歴史資源との連携、市民協働による地域の憩いの場としての活用、さまざまな手段による情報発信。

整備 整備事業を3期に分け、第1期に縄文集落の景観を阻害している要因の撤去等により景観の改善を図り（令和四～八年度）、第2期に再発掘調査や理化学分析などの調査研究を行い（令和九～一三年度）、第3期にその調査研究に基づいた整備によって、縄文集落の姿を顕在化していく（令和一四～二六年度）。

この計画を作るにあたり、学識経験者による検討会を立ち上げたほか、公募制の市民ワークショップを開催し、自治会や協議会、学校の教職員などからも意見を頂く機会を設け、内容に反映させるように努めました。

今後の人口減少社会を見据えると、行政組織だけで史跡を継続的に保存活用していくことは難しいと考えます。さまざまな皆さんに広く活用してもらい、社会全体が保存活用の担い手となって、史跡を末永く伝えていくことができたいと思います。

本年度は、史跡の保存活用を推進する上で、どこにどのような整備が必要なのかを検討する「整備基本計画」を作成しています。ぜひ皆さんの声をお聞かせください。

（裏面に保存活用計画の整備方針図を掲載しています。）



催し物のご案内

★特別展「三方ヶ原の戦いと家康伝承」 10月22日（土）～12月4日（日）

三方ヶ原の戦いから450年。浜松という地域においてこの戦いがどのような意味をもったのか、資料を通して紹介します。

【関連事業】

①ギャラリートーク 10月29日（土）、11月26日（土）、12月1日（木） 10:00～10:30

②ワークショップ「錦絵を組み立ててみよう」 11月3日（木） 10:00～11:30、13:30～15:00

対象：小学校5年生以上 定員：各回10組（応募者多数の場合抽選）

③講演会「徳川家康三方ヶ原戦役画像の謎」 11月12日（土） 13:30～15:30

講師：原 史彦氏（名古屋城調査研究センター） 会場：浜松市地域情報センター 定員：70人（応募者多数の場合抽選）

※②③の申し込みは、当館HP申込フォームまたは往復はがきに事業名・氏名・連絡先を記入して博物館へ申し込み（2名まで申し込み可能・1事業につき1枚のはがきで申し込み）。締め切り：②10/20（木）、③10/27（木）

★小展示「道具たちの100年」 11月12日（土）～令和5年5月21日（日）

★巡回展「活躍、型紙レスキュー隊 ー浜松の機械染色の型紙ー」 10月28日（金）～11月16日（水）

静岡文化芸術大学と浜松市博物館の共同研究の状況を紹介しします。また水窪の「染型紙」（県指定有形民俗文化財）を初めて展示公開します。会場：姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館（浜松市北区細江町気賀1015-1）

★かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし 11月12日（土）午後2時～

会場：蜷塚公園内旧高山家住宅 参加費：無料 ※事前申込み不要。直接、会場へ。



浜松市博物館

開館時間：9時～17時

10～12月の休館日：10/3, 11～21, 24, 31, 11/4, 7, 14, 21, 28, 12/5～16, 19, 29, 30, 31

〒432-8018 静岡県浜松市中区蜷塚四丁目22番1号

電話：053-456-2208

FAX：053-456-2275

Eメール：hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

HP：https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/